

■元田永孚 儒学者。明治天皇への帝王学の教授にあたり、天皇制教育の基本理念の確立に大きな役割を果たした。

もとだながざね

水野忠成老中1818= 肥後国熊本藩士の長子に生まれる。

日本外史・ ・ 1827= 9歳：祖父から「論語」の素読などを受け、
シボク事件・ 1828=10歳：藩校時習館に学ぶ。

・ ・ ・ ・ ・ 1836=18歳：

大塩平八郎乱1837=19歳：父に従って初めて江戸に出る。_{時習館}の居寮生に選ばれ、塾長だった横井小楠の影響を受ける。

勸進帳初演・ 1840=22歳：結婚。

天保改革始・ 1841=23歳：長男が誕生。退寮する。

順天堂始・ ・ 1843=25歳：_実学派に参加。

阿部正弘首座1845=27歳：

以後、_志士たちと交流。

・ ・ ・ ・ ・ 1848=30歳：疫病の流行で一家が倒れ、祖父・母・妻を同時に失う。

北斎没・ ・ ・ 1849=31歳：後妻を迎える。

ペリー来航・ 1853=35歳：

開国開港・ ・ 1854=36歳：

蕃書調所・ ・ 1857=39歳：{時習館}に助教に任じられながら、眼病のため辞任。この年父が死去。

桜田門外変・ 1860=42歳：

生麦事件・ ・ 1862=44歳：後妻をも失う。_京都留守居を命じられ、以後幕末の藩政に尽力。

8月18日政変 1863=45歳：

薩摩藩士密航1865=47歳：_隠居中の小楠を訪問し、話を録して「沼山閑話」とする。

明治維新・ ・ 1868=50歳：_<明治維新>となり、

戊辰戦争終・ 1869=51歳：_病を理由に公職を辞して隠居したが、

初の日刊新聞1870=52歳：_藩知事細川護久の侍読となり、

廃藩置県・ ・ 1871=53歳：*大久保利通らの推挙により宮内省に入り、侍読となる。

学問のすすめ1872=54歳：次男・三男を失う。

明治6年政変 1873=55歳：*“君徳輔導の上言”を起草し、岩倉具視に提出。

_侍講、侍補となって死去までの20年間、天皇への進講をつづけ、帝王学の教授にあたった。

西南戦争・ ・ 1877=59歳：

大久保暗殺 1878=60歳：_他の侍補とともに天皇親政の実をあげるべく運動を起こし、伊藤博文ら内閣側と衝突したが、運動は失敗に終わり侍補制度は廃止、宮中・府中の別が確立された。

琉球処分・ ・ 1879=61歳：_天皇の命をうけて「教学大旨」、

明治14年政変1881=63歳：_薩長藩閥勢力と大隈重信派の双方に対する批判活動を展開した。

新体詩抄・ ・ 1882=64歳：_「幼学綱要」を執筆・編纂し、天皇中心の教育を構想。欧米流の教育政策を転換させて、仁義忠孝を中心とした儒教道徳の復活をはかろうとした。

秩父事件・ ・ 1884=66歳：*教育勅語の起草作業に加わり、「国教論」を草して伊藤博文に示し、天皇制教育の基本理念の確立に大きく寄与した。

帝国大学始 1886=68歳：_宮中顧問官、

初の対等条約1888=70歳：_枢密顧問官を務め、男爵となった。

帝国憲法発布1889=71歳：

帝国議会始 1890=72歳：

足尾鉞毒始 1891=73歳：_没した。